

「子育て」と「働く」が共生する空間

# RYOZANPARK 大塚・こそだてビレッジ

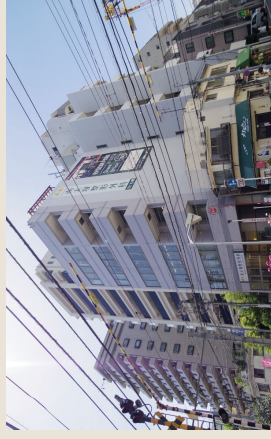
東京都豊島区南大塚 設計：すわ製作所 延べ床面積：498.36㎡ 開設年：2015年



7階のオフィススペース。自分の子供たちを見ながら仕事ができる。

見学日：2017/5/23(火)

見学者：山田先生 齋藤元木 鈴木



5階のオフィススペース



6階のコミュニケーションスペース



7階の保育スペース

**理念**  
運営主体である株式会社 TAKE-Zは「1人の子どもを育てるのには、村全体の協力が必要だ」をコンセプトに、子どもも大人も共に成長できるコミュニティづくりを目指している。こそだてビレッジは子どもを自分の側において「子育てで“ち”仕事”もしたい」と言う第三の選択肢になる事を目指し、オフィスの1フロアを認可外保育所とシェアオフィスが併設する、「育児型シェアオフィス」に転用した事例である。運営代表者の「志を持つ人を応援したい」という思いから、公に広く門度を開いていないため、行政からの支援はあえて受けていない。

**計画**  
運営代表者が東日本大震災をきっかけに日本のコミュニティを強くしたいという思いから、2012年に異業種シェアハウスを始めた。そのシェアハウスで結婚する人たちが多く出てきたため、子どものことが課題になった。その時に運営代表者の両親が持っていたオフィスビルの5〜7階が空いたため、今回の計画が始まった。こそだてビレッジの計画は夫婦やシングルが40人くらい集まってワークショップをして詰めていった。どんなところで子育てでや働かしたいかを設けてアイデアを出したことで、5、6、7階のコンセプトがそれぞれ出てきた。  
5階：少人数で働いている人たちの個室型オフィス  
6階：企業をしたい、しほじめた人、勉強したい社員のためのフリーアードレス型オフィス  
7階：子供を見守りながら働きたい人のための育児型シェアオフィス

**運営**  
託児を行うのは午前だけで、午後からは託児ではないのでお昼寝している子はお昼寝、親のところにいったときは親が見る。子どもが3歳以上になったら幼稚園を利用する人が多く、現段階では3歳以上で定期的に通っている人はいない。しかし、OBOGの仲は良くイベントで交流したりしている。子どもが増えることは良いが、保育士を増やすことができないので、あえて大きく募集していない。情報発信は主にFacebookやInstagramなどのSNSで行っている。7階のこそだてビレッジだけでは赤字になってしまうので、5、6階のオフィスを利用してもらうことで運営資金を確保している。

設計、施工費：5000万円  
保育所利用者：6家族が登録（一番多い時で12家族）  
子どもは兄弟合わせて約10名  
親は7、8名

保育スタッフ：AM 3名、PM 2名（保育士資格所持）  
週5日常勤と非常勤の組合せで運営

<b>託児時間・コア時間</b> 子供は託児、親は仕事 10時〜12時	<b>ランチタイム</b> 親子で食事 12時〜13時	<b>見守り広場、フリー時間</b> 子供が自由に遊び、親が見守る 13時〜16時
---	-----------------------------------	---

1日のスケジュール



7階にあることも大人も一緒に食事を楽しむ和室スペース。

見学日：2017/5/23(火)  
 見学者：山田先生 齋藤  
 元木 鈴木

**設備について**

どの階もオートロックになっており、カードキー認証で入室することができる。そのため会員しか入室できないのでセキュリティがしっかりしている。机やいすなどの家具ひとつひとつにこだわっているため、どのスペースも魅力的な空間になっている。

**育児シニアオフィス**

子どものゾーンと大人のゾーンを分けるために、散らしてガラス張りしたり、段差をつけたり、フロアごとにカラーを変えたりする工夫がされている。転用前はオフィスとして使われていたため、子どもたちが恐るには危ないという課題がある。キッズスペースの換気はペラペラで行っている。そこにはカーペットがついている。キッズスペースとオフィススペースの間にはカーテンがついている小スペースがあり、そこでは授乳やお昼寝ができる。

**和室スペース**

みんなでお昼ご飯を食べる和室スペースは、こどもの発音や親の仕事の話を聞らう場であり、こそでビレッジの象徴になる部屋でもある。運営代表者は集いのシニアハウスの時にキッチン的重要性に気が付いたため、そこにこだわった。トイレなどの水回りは元々まとまっていたが、今回新しくキッチンをつくったため、床を上げて配管している。和室の畳の高さとキッチンの床の高さは、和室にいる子供とキッチンで作業している親の目が合う高さになっている。

**オフィススペース**

6階のオフィスはフリーアークセス型オフィスであり、入口の近くに外部の人も使えるミーティングスペースがある。ミーティングルームの使用時間は2時間まで、それ以上は1日分として1500円の料金がかかる。6階は基本的に電話や会話をしてもいいが、集中ブースだけは静かにしなければいけない。窓際には仕事の疲れを癒すための休憩スペースがある。5階は少人数の個室オフィスが12室と会議室、打ち合わせスペースがあり、活動によって空間を選べるようになっている。5、6階ともに常駐のスタッフはおらず、利用者のモラルによって秩序が保たれている。

**屋上テラス**

屋上にはWi-Fiが完備されているテラスがあり、まちを見渡すことができる。このテラスは仕事の場だけでなく、子供の遊び場にもなっている。しかし、屋上までの階段は急であり、小さな子どもが上がるには危険なところが課題である。

**周辺地域とのかかわり**

オフィスを転用して保育所をつくったため園庭がない。しかし、近くには大塚公園という大きな公園があるため、外で遊ぶことはできる。周辺の団体との連携はとっていないが、散歩の際には商店街の人や神社の人があいさつや声掛けをしてくれる。



和室のことも台所の大人の席が合うようになっている



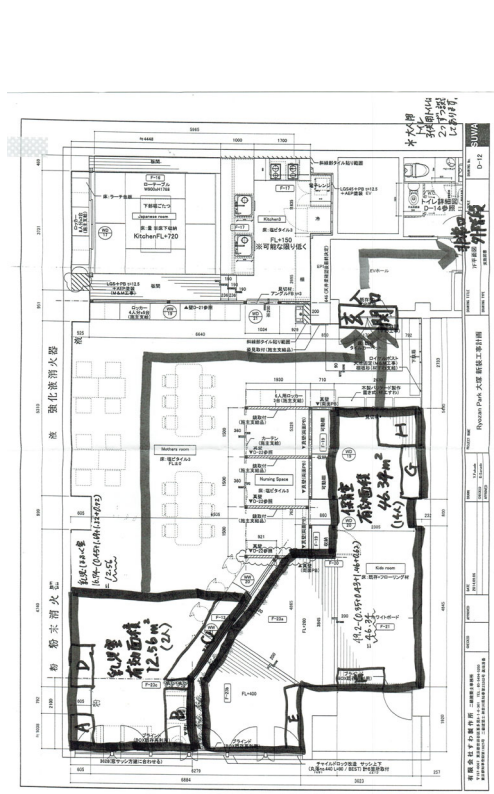
授乳とお昼寝のスペースはカーテンでプライベートを保護する



6階の窓際には休憩エリアがある



屋上にはWi-Fiが完備されているテラスで作業ができる



こそでてビレッジ平面図 1/150